

話すことがもつと楽しくなる 新しい機能を使いこなそう！

話す、聴く、知る、というライダーの基本機能
セナインターコムフラッグシップ20Sには
これらに加えても「快適」「安全」を実現する
画期的な新しい機能がいくつも搭載され
そんなソールを駆使してもっと会話を楽しもう！

SENA 20S

価格:3万6072円(ソロ) 6万9984円(ペア)

最大通話人数:8人

同時通話:8人

通信距離:最大2km

「オーディオマルチタスク」機能をはじめ、最大通信距離2km、最大通話人数8人など、セナ・インターコム最高峰の機能・性能を備えたフラッグシップ機

単に話すだけではない 20SのPlusの機能

走行中のライダーとパッセンジャーが、風切音やエンジン音といった周囲の騒音に遮られることなく話せるようにと生まれたのがインターコムだ。最初はケーブルでライダーとパッセンジャーが繋がっていたが、ブルートゥースという新しい無線通信技術を取り入れることで、一緒に走る仲間と通

話ができるトランシーバーとしての役割も担うツールへと大きく進化。一方、ブルートゥースに対応したスマートフォンと接続することで、電話を受けたり、音楽を聴いたり、ヘッドフォンとしての役目も果たしている。

ここまでの機能であれば、今やどんなインターコムでも当たり前のものとなっている。しかしセナの20Sは、これらに加えて一歩進んだ独自の機能を搭載している。例えば8台の20Sを接続して8人が同時に話せる「グループインターコム」機能。8人で話せるという同時接続の数も20Sが誇るスペックではあるが、さらにこれをスマートフォンで管理して、ボタンひとつで8人を一度に接続できるという、スマートかつ簡単な操作性が画期的だ。

インターコムに限らず、機能やスペックのレベルが上がると、操作は難しくなりがち。8台がつながるといえるのは便利だが、一方その8台をそれぞれお互いにペアリングして接続するという操作はとて面倒だ。しかしこうした最先端の機能を搭載しつつも、誰にでも簡単に使いこなすことができればというのが20Sの魅力。20Sはこのグループインターコム以外にも、こうしたさまざまなプラスの新しい機能を備えている。